



2019. 7. 16 葵中ボランティア出陣式

参加生徒は学校を通して、全員ボランティア保険に加入します。

発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)

7月号



「中学生には力がある。地域の力として、立派に活躍してほしい」
これは平成27年7月、本校で講演を行っていた石巻市の元中学校長、畠山先生の言葉だ。東日本大震災で未曾有の被害を受けた石巻市。そのなかにあつて中学生の活躍が、地域を支える大きな力となったこと



校長 都筑 祐一

「参加している41%...全国比マイナス21%」
これは昨年4月に行った全国学力・学習状況調査に見る本校3年生の実態だ。
そこにはこんな問いがあつた。
「あなたは、今住んでいる地域の行事に参加していますか」
私が驚いたのは、葵の実態ではなく、逆に全国平均の高さだった。
「地域と顔をつなぎ、地域で活躍する中学生でいてほしい」

「ボランティアは新たな自己開発です。新しい自分との出会いが待っています」
ボランティアおじさんとして有名な故牟田悌三氏の言葉だ。きっと多くの生徒が、新しい自分を感じてくれることだろう。そして地域に元気を届ける若者に成長していくに違いない。
「立ち上げれ自分!」私は生徒会のテーマを形にする生徒たちを誇りに思う。ワクワク、ドキドキ、キラキラを求めて、葵中生が自分の意思で学区の活動に参加する。はじめの一步を踏み出す生徒たちを温かく見守りたいと思う。がんばれ葵中生!

を教えていただいた。
毎年日本列島のどこかで、大きな自然災害が発生するようになった。私たちの地域も例外ではなく、きつとその日はやってくる。
今年5月。学区の総代会長さんを通して、たくさんの中学生ボランティアの募集をいただいた。
「井田夏祭り」「愛宕学区七夕祭り」「愛宕学区文化祭」「井田学区講演会」「真伝町盆踊り」「こどもの家大掃除」などなど。
さつそく6月末から、夏休み中のボランティアの募集を始めた。すると、驚くほどたくさんの中学生が名前を上げた。
「ボランティアは新たな自己開発です。新しい自分との出会いが待っています」



活動を振り返って 運動部

成長できた二年半

野球部主将

「あと一勝で県大会だ。」



しかし、その一勝は重みがあり、四月からの試合では、勝つことができませんでした。本当に悔しかったです。でも、そこで悔しさを味わったからこそ、僕たちは成長することができました。総体では、リードされていても食らいつき、逆転勝利を収めることができました。僕は、この二年半で学んだたくさんの方のことを次のステージでも生かして、さらに成長していきます。

かけがえのないもの

ソフトボール部主将

何度も逃げ出したいと思ったこの部活を、今、入部してよかったと心から思っています。私たちの代は人数が多く、互いに意見が食い違うことがあります。しかし、それぞれが高め合い、ともに支え合ってきました。最後まであきらめない根性、いつも元気な声は、私たちソフトボール部の伝統です。今までこの仲間と頑張ってきた日々は、きっとこれから先にも生かされると思います。



この宝物を携えて、次へ。

いざ、和歌山全中へ

男子バスケット部主将

「全国大会出場」

ついに勝負の時が迫ってきました。昨年夏、ワンゴール差で全国を逃し、涙を流す先輩たちと「来年は必ず」と約束しました。今年も決して身長は大きくありません。しかし、小さくても勝てるバスケットにこだわって練習をしてきました。そのバスケットでも勝てることを証明し、小さいチームに夢を与え、必ず昨年のリベンジを果たしていきます。そして、結果で先輩や親、仲間への恩返しをしたいです。

かけがえのないもの

女子バスケット部主将

部活動では、大切な試合で敗れてしまい、勝つことの難しさを学びました。私たちの前には、いつも大きな壁が立ちただかかっていました。チーム内で何度もぶつかり合い、涙を流した日もありました。でも、この仲間と一緒に頑張ったから、大きな壁も乗り越えてくることができました。辛いとき、泣きたいとき、うれしいとき、どんなときもそばには仲間、家族、先生がいました。支えてくれた人への感謝を忘れずにこれからも前を向いて歩いていきます。

部活を通して学んだこと

男子陸上部主将

僕は部活動を通して、いろいろなことを学びました。キャプテンとしてみんなをまとめることの難しさ、自分

が決めた目標に向かって進むことの難しさや大切さです。時には、記録が伸びず、悔しい思いをしたこともありました。でも、アドバイスをしてくださった先生方や一緒に頑張ってきた仲間のおかげで乗り越えることができました。このチームで最後の大会を全力で戦い、楽しみたいです。

努力の先に

女子陸上部主将

新チームになったばかりの頃は、どれだけ練習をしても上手くいかず、ギリギリのところまでベスト8を逃したり、記録が伸びなかったりして悔しい思いをする人が多くいました。しかし、最近では、多くの人が県大会を決めたり、ベストが出たりして、努力の成果が出てきました。

市長杯では、精いっぱい自分の種目で戦い、大きな声で仲間を応援し、最後の大会を楽しみ、笑顔で終えたんです。

最高の仲間

男子水泳部主将

自分たちで何をすればいいのか。それを突き止めるために今まで仲間と高め合って練習してきました。そうしている中で、対立することやうまくいか

ないこともありました。しかし、これがチームの団結力を高め、目標に向かって一つにまとまって努力することができるようになりました。

感謝

女子水泳部主将

この二年半の間、家族や先生、そして仲間を支えられてきつい練習や辛いことを乗り越えてきました。一・二年のころは先輩や自分に甘えて、全力の力が出せなかったり、思うようなタイムで泳げなかったりしました。

中学校での部活動を締めくくる最後の大会で、悔いが残らないように、今練習できる時間、仲間と競い合える時間に感謝しながら、一秒一秒を大切にしていきたいです。

仲間がいるから強くなれる

男子テニス部主将

「頑張れ！フアイト！」

この言葉が僕を勇気づけてくれました。大会で僕が押されているとき、力になったのが仲間からの応援でした。その応援は仲間からだけでなく、他校



の友達や親、見てい
る人たちからもあ
りました。このとき、
多くの仲間がいるこ
とを感じ、その大切
さを学びました。こ
の三年間でさまざま
な人から多くのこと
を学びました。このことをこの先の生
活に生かしていきたいです。

大切な仲間と過ごした日々

女子卓球部主将

チーム結成当初は意見のぶつかり合
い、仲間を応援しないなど、チームを
一つにすることができませんでした。
けれど、練習や大会を重ねるごとに仲
間を応援し、試合に負けて泣いている
子に寄り添う姿が増えました。私もそ
んな仲間の優しさに何度も救われまし
た。私はこの仲間が好きです。みん
など少しでも長く一緒にプレーしたい。
その思いを胸に大好きな仲間と市長杯
を全力で戦ってきます。

思いを胸に

男子剣道部主将

苦しい稽古がたくさんありました。
厳しい指導でやめたいときもありまし
た。しかし、それは僕たちが立てた目
標のためだということに気づきました。
そこから僕たちはさらに頑張ることが
できました。
目標である東海大会出場。仲間を信
じ、家族や周りに感謝し、最後の最後
まであきらめずに戦います。
「仲間とともに東海へ」

感謝の気持ちをプレーで

男子卓球部主将

僕たちは安城市の卓球大会で三位と
いう結果を残しました。岡崎市内では
惜しい結果が多くありました。しかし、
この三位の結果は、仲間とともに日々
競い合い、一心不乱に練習に取り組み
そして、親や先生、周りの方の支えが
あったからこそのものだと思います。
一球一球を大切に最後の市長杯を、全
身全霊で戦います。ありがとうございます

周りの支えのおかげ

女子剣道部主将

この三年間、私が主将として頑張
てくることができたのは、仲間、先
輩、顧問の先生方や家族の支えがあ
ったからです。毎日の稽古はとてもきつ
く、何度も挫折そうになりました。で
も、辛いときは男女関係なく「ファイ

ト！」と、声をかけ合い、皆で盛り上
げてきました。日々の稽古のおかげで
総体では準優勝という成績を収めまし
た。これまでの経験を活かし、私たち
を応援してくださる方々に恩返しとし
て、市長杯で勝ち上がり、必ず西三大
会へ出場します。

個性あふれるハンドボール部

ハンド部主将

僕たちは個性的な集団でした。チー
ム内で温度差を感じたときもあり、う
まくまとまらないときもありました。
そのたびに練習メニューを工夫したり、
話し合いをしたり、作戦を練ったり
しました。それを繰り返すことで強く
なったと思います。辛いことも多かつ
たけれどハンドの楽しさや難しさをこ
のチームで追求できたことがいい思い
出です。

たくさんの人に支えられて

バレー部主将

私はこのチームのキャプテンになれ
てよかったと心から思います。はじめ
はとても心配でしたが、私たちのチー
ムは、学年関係なく仲がいいチーム
だったため、少しずつ不安がなくなっ
ていきました。部活を通して、技術だ
けでなく、心も成長
できました。

これまでの三年間
で、先生やコーチ、
家族など、たくさん
の人に支えてもらい
ました。感謝の気持
ちを絶対に忘れず、



これからも何事にも頑張っていきたい
です。

仲間がいたから

サッカー部主将

この二年半の中で
仲間の大切さ、支え
てくれる人の大切さ、
応援の力の大きさ、
あいさつの大切さな
ど多くのことに気付
き、多くの人に支え
られてきました。楽
しいときも辛いときも仲間がいたから
喜びを共感でき、苦しさを一緒に乗り
越えることができました。
支えてくれた人たちへの感謝の気持
ちを結果で返し、この仲間と一日でも
長くサッカーができるようにしていき
たいです。

葵夏祭り

クラスみんな
一年三組

初めての葵夏祭り。私たちのクラス
は、「傘バランス」を担当しました。
しかし、前日の段階では準備が間に合
わず、本当に実施できるのか心配をし
ていました。

祭り当日の朝、クラスのみんなでい
つもより早く登校し、最後の仕上げを
行いました。クラス一丸となって準備
をすることで、間に合わせることがで
きました。祭りが始まってからも、お
互いに声を掛け合い、助け合うこと

スムーズに楽しく運営することができました。
準備や当日の運営を通じて、一年三組の絆が一層深まったことを感じしました。

情報モラル教室

インターネットについて学んで

二年七組

インターネットは便利であるけれど、使い方を間違えると、とても危険なものになることを学びました。軽はずみな発言や、何気なくアップした画像がデジタルタトゥーとして一生残ってしまいます。さらに、ゲームに依存してしまふ怖さも知りました。僕は、友達とできるだけSNSではなく、直接顔を合わせてコミュニケーションをとろうと思ふようになりました。



一学期を振り返って

一学期の成長

一年八組

私は入学式の日、中学校生活に慣れることができるか、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、気軽に話

しかけてきてくれる友達に不安な気持ちを消してくれました。海の学習では、実行委員としてどうしたら学年が団結、協力できるかを考えて活動をしました。レクやキャンプファイヤーは大成功で目標を達成することができました。この一学期、私自身、周りを見て行動ができるようになり、成長できました。これを二学期の行事にもつなげていきたいです。



級長を経験して

二年一組

私は、二年生になり、クラスも変わって不安でいっぱいでしたが、級長に立候補しました。生活をしていく中で、クラスをまとめるのは簡単ではなく、本当に私が級長でよかったのかと悩むときもありました。しかし、中心となっていくいろいろなことを進めていく中で、それが成し遂げられたとき、大きな自信につながりました。私たちのクラスの級訓は「虹」です。良いクラスにするために、一人ひとりの個性を尊重して輝いていきます。二学期も一学期以上に、級訓のようなクラス作りを目指し、級長として責任をもって取り組みたいです。

心配からの取り組み

三年二組

僕は昨年、クラスに仲の良い友達が少ない、うまくいかないことが多くありました。今年もとても心配な気持ち

が強くありました。しかし、同じクラスの人と行事や生活などを通して、とても仲良くなり、学校生活が楽しくなりました。
僕は最近、さまざまなことに積極的に取り組んでいます。委員長や議長になり、学校の代表の人をまとめています。いろいろなことを経験して、一学期の学校生活がより良いものになりました。

表彰の記録

西三通信陸上

一年一〇〇m

三位

九月の予定

- 二日(月) 生徒集会 給食開始 委員会
- 四日(水) 岡崎学力検査(二年) 身体測定(一・二年)
- 五日(木) ひまわりプロジェクト
- 六日(金) 身体測定(三年)
- 七日(土) 水泳新人戦
- 九日(月) 全校集会 生徒議会 後期生徒会役員選挙
- 一二日(木) 陸上新人戦
- 一四日(土) 敬老の日
- 一六日(月) 体育大会予行(予選)
- 一八日(水) 葵中体育大会
- 二一日(土) 秋分の日
- 二三日(月) 代休
- 二四日(火) 授業参観 新人戦激励会
- 二七日(金) 新人戦
- 二八日(土) 新人戦
- 二九日(日) 新人戦
- 三〇日(月) 生徒集会 委員会

葵が丘 様変わりする教室の光景

教頭 矢田 雅彦



昨年度より進められてきたエアコン設置工事が完了しました。教室では子供たちの健康に配慮された快適な環境の中で学習や生活を送ることができるようになりました。

そんな中、ふと思いつき起きたのは、昨年までのうだるような暑さの教室で練り広げられてきた光景でした。全身から吹き出る汗でシャツを濡らしながら授業をしたこと。窓を全開にしても風が入ってこずに、下敷きで扇ぎながらわずかな風を求めたこと。お楽しみ会でかき氷をみんなで作って頬ばったこと。教師も子供も何とかして厳しい暑さを堪えしのごとく懸命でした。
しかし、これからはそんな光景を見かけることも減り、ただの懐かしい思い出話となってしまうのかと考えると何か寂しい気もします。教室には季節ごとにさまざまな生活が練り広げられ、そこで過ごした仲間同士にはいつまでも心に残る共通の光景があります。

夏の暑さはこれからも厳しさを増すことでしょう。令和とともに始まった教室の窓が閉め切られたエアコンの中の生活は、どう様変わりし、どんな光景が教師や子供の心に残っていくのかとても楽しみです。